

合併算定替の交付税削減 22億円のマイナス

普通交付税交付基準額 合併算定替と一本算定の乖離額の推移 (単位：千円)

| | 鶴岡市 | | | | 酒田市 | | | | 庄内町 | | | | 乖離額 合計 |
|--------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | 合併算定替 | 調整後 | 一本算定 | 乖離額 | 合併算定替 | 調整後 | 一本算定 | 乖離額 | 合併算定替 | 調整後 | 一本算定 | 乖離額 | |
| 平成18年度 | 18,801,785 | | 15,635,937 | 3,165,848 | 12,424,768 | | 10,789,824 | 1,634,944 | 3,949,545 | | 3,601,940 | 347,605 | 5,148,397 |
| 平成19年度 | 18,359,815 | | 15,079,265 | 3,280,550 | 12,403,157 | | 10,759,342 | 1,643,815 | 3,995,954 | | 3,621,025 | 374,929 | 5,299,294 |
| 平成20年度 | 19,455,134 | | 16,177,414 | 3,277,720 | 13,125,610 | | 11,334,047 | 1,791,563 | 4,142,255 | | 3,712,696 | 429,559 | 5,498,842 |
| 平成21年度 | 19,439,578 | | 16,245,052 | 3,194,526 | 13,562,742 | | 11,813,438 | 1,749,304 | 4,213,469 | | 3,791,803 | 421,666 | 5,365,496 |
| 平成22年度 | 20,611,029 | | 17,274,428 | 3,336,601 | 14,782,651 | | 12,927,413 | 1,855,238 | 4,573,272 | | 4,095,551 | 477,721 | 5,669,560 |
| 平成23年度 | 20,848,478 | | 17,019,402 | 3,829,076 | 15,047,114 | | 12,968,325 | 2,078,789 | 4,589,081 | | 4,033,775 | 555,306 | 6,463,171 |
| 平成24年度 | 20,973,924 | | 16,957,420 | 4,016,504 | 14,743,260 | | 12,683,621 | 2,059,639 | 4,565,376 | | 3,971,650 | 593,726 | 6,669,869 |
| 平成25年度 | 21,132,077 | | 17,051,809 | 4,080,268 | 14,964,125 | | 12,747,053 | 2,217,072 | 4,564,633 | | 3,939,878 | 624,755 | 6,922,095 |
| 平成26年度 | 21,320,029 | | 17,744,925 | 3,575,104 | 14,652,885 | | 12,691,736 | 1,961,149 | 4,526,328 | | 3,981,871 | 544,457 | 6,080,710 |
| 平成27年度 | 20,957,037 | | 17,903,581 | 3,053,456 | 14,246,115 | | 12,703,701 | 1,542,414 | 4,549,891 | | 4,104,537 | 445,354 | 5,041,224 |
| 平成28年度 | 21,159,514 | 20,897,455 | 18,782,809 | 2,114,646 | 13,901,993 | 13,755,544 | 12,621,527 | 1,134,017 | 4,540,834 | 4,501,465 | 4,203,486 | 297,979 | 3,546,642 |
| 平成29年度 | 20,560,809 | 19,919,501 | 18,470,438 | 1,449,063 | 13,744,110 | 13,424,755 | 12,590,916 | 833,839 | 4,609,520 | 4,521,512 | 4,323,420 | 198,092 | 2,480,994 |
| 平成30年度 | 20,737,624 | 19,774,981 | 18,801,638 | 973,343 | 13,367,123 | 12,899,556 | 12,401,950 | 497,606 | 4,555,287 | 4,434,843 | 4,320,627 | 114,216 | 1,585,165 |

地方交付税の合併算定替と一本算定の差額は平成25年度までは年々拡大し、26年度からは見直しが始まった

※28年度以降の「調整」は、財源不足額の全国計と普通交付税総額の差額を、各地方団体の基準財政需要額に応じて按分し減額する措置

※28年度以降の「乖離額」は、「調整後」と一本算定との乖離額

平成17年に合併した庄内の3市町では、平成大合併の最大の目的である地方交付税の段階的削減が平成28年度から始まり、33年度で一本算定になります。一方、国の交付税の予算が足りない場合、その分が減額される「調整」が28年度から実施されています（27年度までは国の補正予算で「調整復活」され、追加交付された。合併後10年間は、合併前の市町村ごとに算定した普通交付税の総額が配分され（合併算定替）、合併11年目から段階的に減らされ、16年目には純粋に一つの自治体として算定されます（一本算定）。

全国は合併自治体ではその影響が問題になり、総務省は27年2月、算定替終了後の新たな財政支援策として、周辺部の地域振興や支所経費、消防や小中学校費などの加算を決めました。

その結果、鶴岡市の一本算定額は188億円となりますが、段階的削減が始まる前の27年度の交付税210億円と比べ22億円少なく、「合併の痛み」です。29年度の普通交付税（実績）は前年度比マイナス9億7千万円、30年度は同マイナス1億4千万円です。

【絵を描く】 多層民家

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

田麦俣集落の多層民家を訪れた。鶴岡から30余キ、国道112号から左手にそって急な坂道をしばらく下る。行き着いたところにその集落はあった。その道のりは長かった。

多層民家の遠藤家の萱葺き屋根は、見るからに風格があつて、その場で描きたい気持ちに誘われた。

玄関から入るとすぐ、藁で編んだ履物のジンベヤワラジ、アシナカゾウリ、フカグチ、フミダワラなどがずらりと並んでいる。郷愁を覚えて見ても飽きない。

隣の間には、身の丈ほどもある「味噌たる」がデンと座っている。太い割れ竹の籠で幾重にも締められていて、その存在にも目が引き付けられる。

「あがりがまち」から茶の間上がる。部屋の中ほどに囲炉裏があつて、自在鉤に鉄瓶が吊り下がつてあつた。狭い階段を2階にあ

がる。養蚕の棚や「千歯抜き」をはじめ様々な農具が置かれてあつた。3階の屋根裏に上がる。作業場らしい所で、片隅には俵編み機が、柱には中縄が束ねて掛けてある。

家の中の多くの物が藁製品である。全体が温かい雰囲気を出しているのはきつとそのためかも知れない。

天井を見上げると、障子窓の明かりを受けて何本もの柱が縦横に斜めに、組まれている。柱は驚くほど太く、荒削りで黒々としている。互いに太縄で幾重にも巻かれてがっちり繋がれている。その頑丈な造りに圧倒される。

数メートルも積るという豪雪の重さを、江戸時代から長年にわたつて支えてきたのがこの柱組みだ。多層民家ならではの歴史の重さだ。この情景は言葉では表現しきれない。どうしても描かなければと絵筆をとった。

※絵は屋根裏



辻褃合わせ

東北公益文科大学の元教授三原容子先生が、庄内と薩摩の関係について、西郷と庄内藩次席家老・菅実秀の「徳の交わり」という特殊な関係に対する、非常に批判的な論文を新聞紙上に発表しています。

私もその関係について、前々からいくらか疑問を持っていました。食うか食われるかの激烈な戦闘において、渦中にせよ戦後にせよ、こんな美辞麗句の表現を用いて良いのかと。

昨年暮れ、東田川文化記念館である知人とお会いしたときの話。

戊辰戦争の終期、庄内藩の中心地域は無血開城だった。

会津藩の白虎隊に象徴されるような悲惨な結末を見ていた菅たち庄内藩の首脳部は、鶴岡の中心部に戦闘が波及しないようにと、事前工作を行ったという。官軍の指揮者西郷のふところに、ワイロ（本間家が3万両ほど用意をねじ込んで事を丸く収めようとしたこと）と。

幕末の慶応3年12月25日（1868年1月19日）、江戸市中取締りの庄内藩新徴組らが、江戸の三田にある薩摩藩の江戸藩邸を襲撃し、砲火により焼失した事件（江戸薩摩藩邸の焼討事件）があり、この事件が戊辰戦争のきっかけになったといえます。

「庄内藩はあの時の

襲撃でお宅に大迷惑を

かけた。おわびとして賠償金のような形でこのお金を受け取ってくれ」と言ったかどうか、私の想像力は拡がりません。成澤功の歴史認識です。

話しは変わりますが、日露戦争の旅順攻囲戦（1904年8月19日〜05年1月1日）二百三高地で、乃木將軍とステッセル將軍との会見が、歌謡曲（軍歌）にも残っています（水師營の会見）。

日本軍の明石元二郎大佐が、戦闘を一刻も早く終結させるため、秘かにステッセルにお金を渡したという裏話を、私がある本で読んだことがあります。

戦死者は日本軍1万5400人、ロシア軍1万6千人でした。

だまされては遺憾！
―戦争はウソから始まる

青山崇



西谷文和『戦争はウソから始まる』が8月発行された。

アジア・太平洋戦争の長期化（行き詰まる日中戦争ほか）、死にゆく兵士たち―絶望的抗戦期の実態1（膨大な戦病死と餓死ほか）、身体から見た戦争―絶望的抗戦期の実態2（兵

ムダな殺戮を際限なく繰り返すよりも、はるかにましな策略だったのではないかと。

戊辰戦争では、官軍・西郷としてはこれ以上戦争を長引かせたくないという思惑と、菅実秀にすれば、最終的に35万両を掻き集めて明治政府に納め、転封を免れ、失業武士の救済のため、ワッパで思わぬお金を懐に入れた農民に対し、少々の荒療治も已むを得ずと判断したのではないかと。



激烈な戦闘だった旅順攻囲戦後、日本軍とロシア軍の幹部が仲良く肩寄せ合って並んだ記念写真が残されている。

士の体格・体力の低下

ほか）、無残な死、その歴史的背景（異質な軍事思想ほか）、深く刻まれた「戦争の傷跡」などの構成になっている。

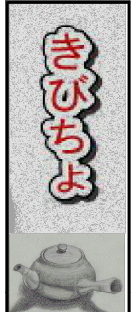
また、重なる部分もある吉田裕『日本軍兵士』が昨年12月発行され反響を呼んでいる。これらを参考に後日記すこともあろう。

さて、戦争はウソで始めた日本版をまず紹介しよう。

1931（昭和6）年

9月18日夜に起こった柳条湖事件である。

関東軍高級参謀だった板垣征四郎や奥出身石原莞爾らが、近くの南満州鉄道（日本所有・管理）を日本軍に爆破させ、それを中国軍の仕事とウソをつき、中国軍兵營を襲撃、さらに戦闘を拡大し、満州（現中国東北部）の主な地域を占領し、清朝廃帝・溥儀を元首とする傀儡（日本の言いなりになる）満州国を成立させた。



憲法を変えるな

大変な災害です。台風21号に大地震。北海道では重ねての災害でした。被災された全

ての皆さんに、心からお見舞い申し上げます。大忙しの地元役所・消防団員に警察官・それに自衛隊員にはご苦労様です。今年、特に自衛隊員には忙しい年じゃなかったでしょうか。大きな仕事をしていることは、国民が認めております。

▲このような仕事に多くの国民が感謝している自衛隊を、安倍首相は憲法に書くと言ってますが皆さん、なぜだと思いませんか。首相は、自衛隊は憲法違反だという声が多いからだ・言うのですが。

▲ご存知のように憲法9条には、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」と規定しているんですね。これ

た。

国際連盟は黙視できず、リットンを団長に調査団を派遣した。

その報告書は日本軍の行動を不当とした。国際連盟総会は日本軍の撤退を決議。日本は1933年国際連盟を脱退し、国際社会から孤立、アジア・太平洋戦争へと突き進むことになる。

※石原は、父が警官であったため転校が多く、藤島小にも在籍。

は先の戦争の反省の上に立って、2度と戦争はしないと世界に誓ったんですよ。だから自衛隊を軍隊にする必要はないのです。今のままで、今のようない仕事ができるんだから。防災や救助に当たる自衛隊を誰も憲法違反だなんて思っていないんです。

▲政府だって長いこと、自衛隊は専守防衛にあたるんだから、軍隊ではないと言ってきたり来たんじゃありません。法に書くという事は、良くない事・つまり悪いことを画策しているからですよ。戦争法が出来たので戦争が出来る軍隊にしたい・と不

▲今度自民党の総裁・つまり総理大臣になったら、憲法を改正すると意気込んでいます。これも自公で強行するとうんできょうか。またも、アメリカの押し付け憲法だから自主憲法を・ナンテ言うんですか。（石川）